

## 令和5年度 第8回 旭川市行財政改革推進委員会 会議録(要旨)

1 日時 令和5年10月30日(月) 10:00~11:50

2 場所 旭川市総合庁舎入札室

3 出席者 長谷川(芳)会長, 佐々木委員, 曾根委員, 長谷川(愛)委員, 靱岡委員  
(事務局)浅利行財政改革推進部長  
行財政改革推進部 行政改革課 梶山課長, 及川課長補佐, 水沢  
総合政策部 財政課 小澤課長, 万年課長補佐

4 公開・非公開の別 公開

5 会議資料

次第

資料1 答申書(案)

6 議事要旨

(1) 開会

(2) 旭川市行財政改革推進プログラム2020の改訂について

事務局から前回議論及び行政評価の際に議論した内容に基づいて答申案を作成した旨の説明があり, 意見交換。概要は次のとおり。

【会長】

答申案について審議したい。各論部分について御意見はないか。

【委員】

答申には, 行政評価で話し合った内容も踏まえ, 廃止や見直しについて具体的に盛り込むべき。そうすることで, 行政改革に取り組みやすくなるのではないか。

【委員】

市役所業務が相当複雑化していると思うが, 現状で人口が減っており, 職員数や市として使える金額はどうしても減らざるを得ないことを表現してはどうか。そのような現状にあることは本来総論に入れても良い。人口減は漠然と分かっているが, 前回のプログラムの時期から今まで, もうこれだけ減っているということを具体的に示すことでインパクトがある。

【会長】

説得力ある文章を作るという意味で具体例を盛り込みたい。各論 I 歳入確保, 2 受益者負担の適正化について盛り込むべき具体例はないか。

【委員】

受益者負担の適正化となると, 建物を使う利用料もあればごみ袋の話題もあったので, ここに具体例として盛り込んでどうか。料金は他市と比べて中くらいだった。ただ将来的に焼却施設の維持管理等の費用を賄うためには, 増額していかなければならないだろう。そういう視点を入れた見直しを今後継続的に行っていく必要がある, ということを入れてはどうか。

【会長】

3 ふるさと納税に繋がる取組についてはどうか。

【委員】

ふるさと納税の返礼品には、例えば東川のように体験を盛り込むとか、若者や移住希望者に対して、より魅力ある内容にしていく必要があるのでは。PR も重要だが、返礼品や旭川の魅力を増すことについて尽力していくことが必要。旭川独自の体験や、もの作り、デザインなどの旭川らしいオリジナリティを盛り込み、旭川出身の若者が離れていても、旭川市を応援できるような愛着を持てるものと、移住促進も含めて、旭川を PR できれば良い。

【事務局】

自動販売機でふるさと納税できる街もあり、体験型観光のチケットが出てくるものもある。京都では京料理のチケットがでるものがある。やはり納税者の方に、より魅力を感じるようなものを開発したり見つけて出していくことも重要だと考えている。

【会長】

Ⅱ歳出抑制の1市有施設の在り方については、建物の老朽化が進んでいるので、廃止するのか直して使うのかといった議論が中心となった。それはそれで必要な議論だが、逆に、旭川の魅力として、このような施設があると良いのではないかという意見はないか。魅力的な施設ができれば、廃止する方ももっと大胆に進められるのではないかと思った。

【事務局】

新たに施設を建設する際には、既存施設の様々な要素や用途を合わせた複合的な施設とし、機能を集約することで、既存施設を閉めていくことができるというイメージで仰っていると思う。そうすることで、管理費用の圧縮や老朽化問題への解決になるというようなイメージが良いか。

【会長】

行政評価で、花咲運動公園や嵐山パークゴルフ施設について議論した際、民間の力も導入して、行政としては歳出抑制して効率的な運営を、市民としてはもっと使い勝手が良い施設にという話題があった。その趣旨も答申に入れると、ただ単に施設を直すか廃止するか議論よりは少し前向きなものとなる。より良いものを作っていくが、そのためには廃止しますという方向付けの説明ができれば、多少新たな予算組みが必要になったとしても理解いただけるのではないか。

【委員】

近い将来で、新たに整備予定の施設はあるのか。例えば、札幌のように立派なコンサートホールを作ろうとか、近い将来、市としてそのような目標があれば教えて欲しい。

【事務局】

総合体育館や文化会館など、老朽化が進んでいて、建て替え検討が必要なものはある。最終処分場も元々あるものがいっぱいになるので新しくするという考え方。

例えば文化会館や総合体育館を建てる時に、民間活力を入れて、例えば PFI 方式のような形でやるとか、あるいはそこを複合施設にして機能も充実することで、古くなったり借りている施設を止めることの理解もいただけるというお話かと思う。

札幌でも、新しくできたホールでは、テレビ局や民間の施設がかなり入っている。

【委員】

あそこは完全に民間の中という感じ。そちらの方が、これからの視点としてはいいのかも知れない。

【会長】

人口減少に伴って、市の職員も減少するが、人口減によって一つ一つの仕事の事務量が減るが種類は減らないとなると、効率が非常に悪い。まさに削減できる仕事はないのか、あるいは効率化できる行政サービスはないのかというイメージになる。取捨選択しきれなければ、担当の統合をすることによって効率化を図る、といった例について、思い浮かぶ方はいるか。

以前、行政評価を実施した時に、ごみ収集自体は止められないけど回数を減らせるのではないか

という議論もあったが。

【委員】

行政のスリム化や業務効率化が、私としては一番重要なのではないかという気持ちが高い。各論として例示を入れるのであれば、ごみ収集の話とか、やはり残業代削減、働き方改革的なところも入れていただければと思う。

【会長】

歳出抑制項目として、重要度を優先させた順番にということで、行政の効率化を一番目にあげるという意見が出た。その順番で、委員会として整理したい。

仕事自体をどうするかという内容と、仕事をする職員や、そのための組織というのを、別の議論にしていこうと思うが、いかがか。

【委員】

承知した。組織の人材育成が個人的には重要だと思っている。私個人の感覚としては、組織改革人材育成が一番お金を減らすことに繋がっていく。業務効率化は確かに重要だが、小さいかなというイメージがある。

【委員】

総論に大きなテーマがあって、各論に具体例があった方が分かりやすい。

【会長】

行政のスリム化について、先ほど、事業の取捨選択あるいは集約統合の具体案として、ごみ収集の話題を出したが、該当しないように思えてきた。他に何かあるか。

【委員】

行政のスリム化の(2)の集約統合のところで、総論のところの2の方が細かく書いてあるが、例示は各論に持って行った方が良い。

【会長】

各論部分の文章の肉付けという意味で、総論にある部分を一部持ってくるということで、よろしいか。次に、働きがい改革と3番の計画的な職員配置について意見ないか。

イベントなどで休日出勤がある場合には代休制度をしっかりと確立する、5時以降に実施する業務がある場合には勤務時間を変更することで勤務時間を確保すると、1日の時間の枠内で仕事ができ、なおかつ人件費もかからないということも必要なのではないか、という議論もあった。

(2)のところで、多様な働き方を整備し柔軟に選択できるという部分が該当するだろうが、例示を入れてはどうか。

【委員】

時差出勤というより、フレックスという言い方が分かりやすい。

【委員】

戻ってしまうが、1職員の意識改革の(2)風通しの良い組織風土の醸成、という項目で、職員自身が業務のスリム化や事業カットについての意見を気軽に言い合えた方が良いと思った。我々のような外部の視点も必要だが、中で働いてる人が、削減や前例のない取組について意見を活発に出していくということが盛り込まれてると良い。

【会長】

IVの協働の取組で、以前、委員から東川町の取組についての例示があったが、もっと具体性がほしい。

【事務局】

市民協働の事業については、分かりやすい例として雪下ろしなどがあるが、他にも他都市で実施している事例を入れた方が良さだろう。

【委員】

単なるコスト削減だけではなく、高齢者にも活躍の機会を設けるなど、市民皆で能力を生かし合えば良い。そのような取組を進めることで、選択と集中についても旭川市民全体で考えて行けるようになるのではないかと。

【会長】

各論で更に御意見あるか。

なければ、次に全体の流れについての意見はないか。

【委員】

組織改革人材育成が重要だと思う。市民協働は最後のまとめとして、組織改革人材育成を冒頭に出してその後歳入歳出でも良いのでは。

【会長】

そのようにしても、流れとしては不自然ではない。各論の順番としては、今3番にある組織改革・人材育成をⅠとし、Ⅱが歳入確保、Ⅲを歳出抑制と変えたい。総論の文章についてはどうか。

【委員】

総論5の地域の魅力発信及び経済活性化は、ふるさと納税や企業誘致の話になってくるので、各論Ⅰ歳入確保の3番4番の用語を関連付けた方が良い。

【会長】

大きな話を総論の頭で入れるのか、あるいは総論の上に3行あるが、ここで人口減少問題などを織り込む方法もある。「はじめに」に盛り込んで良い。総論の頭書きのところを少し膨らませて、そもそもこういう課題を認識して議論をやっているという流れにしたい。

【事務局】

総論の5が地域の魅力発信及び経済活性化となっているが、ふるさと納税と外貨の獲得のイメージで、各論にある国の資金については当てはまらないので、財源確保などに項目名を変更してはどうか。

【委員】

独自財源の話題について発言したが、国や道から補助金を受けることも重要だということがわかったので、そのあたりを踏まえていただければ。

【委員】

行財政全体を見直して、選択と集中で必要な経費を獲得するのは、少子化が課題となっている旭川の子供たちの教育や、これからの未来を支える市民に向けた取組なんだという目的意識がほしい。ただ削減してお金を増やしたいだけでなく、未来への投資を見据えた取組であるという目的があると締まるのではないかと。

【事務局】

将来を見据えただけではなく、今あるニーズや旭川の魅力あるまち作りの方に無駄なお金をシフトするというイメージ。

【委員】

総論の2の利用者起点という言い方だが、視点でない理由は何かあるのか。

【事務局】

議論の中で市民の立場に立った時にどうだったら便利なのかという、誰を始まりとして何を政策を打ち立てていくというような意味で使用したが、一般的ではないのかもしれない。

【委員】

答申なので、分かりやすい方が良い。総論の1でDXが出てくるが、これも定義か説明を書き入れた方が良い。

【会長】

他にも分かりにくい言葉があるが、まとめて注釈を入れたい。総論2(2)で「従事者視点での従来

手法にとらわれない業務効率化」とあるが、各論Ⅲ3の計画的な職員配置を比較すると各論の方が大きな話になっている。総論の内容は(1)市民目線での分かりやすい改革の内容だけに止め、各論に(2)の内容を入れてはどうか。(1)の細かい部分も各論に入れた方が良い。

【委員】

将来にわたって大学生が旭川に残ると良いと思うが、残る人材を育てるという意味で、大学生に行政の仕事体験をしてもらうことを考えたら良いのでは。

【委員】

行政参加という意味で、選挙の投票率を上げるという取組もある。「はじめに」の部分にも盛り込める。大学生に限定せず若者として、行政への興味を増やすような施策がほしい。

【会長】

以上の意見をもとに事務局で答申案の修正をいただきたい。

以上